



2020年11月12日

各位

会社名 北日本紡績株式会社
代表者名 代表取締役社長 粕谷 俊昭
(コード: 3409、東証第2部)
問合せ先 取締役 篠原 顕二郎
(TEL. 076-277-7530)

第2四半期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)の業績予想数値と実績値との差異 (2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	409	△26	△20	△21	△1.40
実績値(B)	342	△46	△43	△46	△3.01
増減額(B-A)	△67	△20	△24	△25	
増減率(%)	△16.3	—	—	—	
(参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	317	△46	△38	15	1.78

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、紡績事業においては主力であるアラミド繊維の受注状況が第1四半期以降、需給好転の流れが継続しており、自動車関連向け紡績糸を主体に強い引き合いが続いたことから、ほぼ計画と同水準の売上高を達成できたものの、テキスタイル事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が予想以上に中東マーケットでの販売状況や営業活動に支障を与えたことから、受注および出荷数量ともに低調な推移となりました。また、ヘルスケア事業につきましても、新規取引先を獲得できたものの、取引開始時期が予定よりも遅れたことから、売上の実績が前回発表予測を下回りました。

さらに、売上高の減少に加え、M&Aに伴う買収関連費用等が計画を超えて発生したことから販売費およ

び一般管理費が予想を上回り、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前回発表予想を下回りました。

なお、2022年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では前回の業績予想から変更はございませんが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示する予定です。

以 上